

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯地域農学科

問題

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

農林水産省の統計によると、平成 28 年の農業就業人口は 200 万人（日本の総人口の約 1.6%）を割り込むことが予想されている。このような中、農業振興として農産物のブランド化や IT 化、さらには六次産業化などさまざまな取り組みがなされている。そこで、あなたが次世代の農業の担い手であるとすれば、どのような農業、あるいはどのような農業経営が考えられるか、あなたの意見を 800 字以上、1200 字以内で述べなさい。

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯地域農学科

出題の意図

わが国の農業における課題には、TPP参加や国際競争力低下といった農業経済に関わる問題のほか、農業就業者の高齢化や担い手不足など人材育成の問題があげられる。

亜熱帯地域農学科では、(1) 国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人、(2) 地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に取り組みたい人、(3) 農業と地域社会との共生の仕組みを考えたい人、をアドミッションポリシーとしており、上記の問題を通して、志願者の農業や農業経営に対するグローバルな視点や環境問題への意識、あるいは地域振興など、農林畜産業に対する関心や知識、問題意識や意欲などについて総合的に評価する。